

電車・バスを利用して健幸都市に

「いかに公共交通が再整備されるか、これも健幸都市を実現するための大きなキーワードになる」と、「都市の健康」をテーマに昨年10月に大分市で行なわれた都市問題会議でコーディネーターを務められた久野譜也筑波大学教授は指摘されています。

まさに我が意を得たりで、高松市のまちづくりの方向性も同じです。昨年9月には全国でもまだあまり例のない「公共交通利用促進条例」を公布・施行しました。これまでの拡散型のまちづくりを集約型に転換しながら公共交通網を充実させ、人口減少、超高齢社会においても活力を維持し、人・まち・社会が健康である都市でありたい、と願う気持ちからです。公共交通が衰退すると交通弱者の急増をはじめ、環境問題の悪化、中心市街地の空洞化など、地域社会そのものが大きく衰退しかねません。そうならないように、みんなで公共交通の利用促進を図ってより充実させる好循環を作り出そう、というのが本条例の趣旨です。公共交通を子ども達が利用することで、公共道德を養う機会となることも期待できます。

利用促進の第1弾の取り組みが3月1日から始まっています。ことでの電車とバスの乗り継ぎ割引が、「20円」から「100円」に大幅に拡大しました。乗り継ぎにより、バスの初乗りが160円から回数割引も含めて50円になります。100円で運行しているまちバスなどは、電車から乗り継ぐ場合は実質無料です。

さらに秋ごろを目途に、70歳以上の市民を対象として、イルカカードが利用できる全ての公共交通機関の料金が半額となる、新しいカードを発行する予定です。交通弱者である高齢者の足の確保とともに、高齢者の自動車運転による事故のリスクを減らし、外に出て歩くことで健康増進につながることを大いに期待しています。

いよいよ新年度が始まります。通勤の定期を新たに求める方も多いでしょう。電車の定期イルカを持っている人は、いつでも全てのバス利用が100円引きになります。

皆さん、是非ともこの機会に、電車やバスなどを利用して健幸都市づくりに参加しませんか。